

報告事項1 令和3年度 事業計画
(令和3年4月1日より令和4年3月31日まで)

1. 郷土芸能に関する発表会の開催

「全国地芝居サミット」

令和3年度オンライン地芝居サミット開催、並びに地芝居サミット開催に向けて、保存団体、自治体等と調整を行う。

2. 指導者、保存団体の育成

(1) 伝統文化継承フォーラムの開催

地域の郷土芸能の指導者及び保存団体が次世代へ繋げていく方策を探るフォーラムを発表会開催との連携を取りながら進める。

(2) 郷土芸能振興支援プロジェクト

継承が困難な団体等の振興に向けての活動を支援する。

3. 情報の収集及び提供

(1) 会報発行

会員及び関係機関等から全国各地の郷土芸能の情報を収集し、会報に掲載して広く一般に広報する。年4回の発行。発行部数1,000部。

(2) 情報の収集及び提供

会員、民俗芸能関係者及び関係団体等から全国各地の郷土芸能の情報を収集し、直近の情報をメールマガジン、SNS上等に掲載して広く一般に情報提供する。

(3) 映像の収集と活用

「郷土芸能ストリーム」

郷土芸能の上映会を通じて、日本全国の地域コミュニティと密接に結びついている様々な「郷土芸能」を、分野を越えた幅広い層に発信して郷土芸能に接する機会を広げることで理解を深め、サポートする層の増進を図る。

開催期日: 奇数月の第2水曜日(予定)

4. 国際交流事業

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京の主催事業である「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13」の一つとして、中止となった「世界無形文化遺産フェスティバル2020」の調査内容等を基に、世界無形文化遺産の継承とその重要性、並びに魅力を訴求する催事を開催する。

期日:2021年5月下旬～7月上旬の1日

会場:都内の1,000人規模のホール

開催内容

①海外調査6カ国の芸能紹介

「ガヨの伝統舞踊 サマン」

インドネシア共和国

「セトレーロ セトの多声歌唱」

エストニア共和国

「エチオピアの民族芸能」

エチオピア連邦民主共和国

「トンガの歌と踊り ラカラカ」

トンガ王国

「東ブータンのヤクの踊り」

ブータン王国

「ガリフナ民族の歌と踊り」

ホンジュラス共和国

②国内4団体の芸能披露

「仰山流笹崎鹿踊」

岩手県大船渡市

「秋保の田植踊」

宮城県仙台市

「じゃんがら念仏踊り」

福島県いわき市

「和太鼓」

東京都

③世界無形文化遺産フォーラム

有識者による無形文化遺産の重要性とその魅力について討議

5. 顕彰

全郷芸入会5年と10年の継続会員に対して感謝状を贈る。また、会員の中から長年に亘り郷土芸能の振興発展に寄与した個人の活動に対して功労賞を贈る。

6. 調査研究

「まつり研究会」の開催

まつり研究会を開催する。開催地域、対象「まつり」、開催日等については今後検討していく。参加募集は会報やインターネット等を活用して行う。

7. 郷土芸能の振興・発展

「郷土芸能探訪」

ジアース教育新社発行の「文部科学教育通信」に全国の郷土芸能を紹介する「郷土芸能探訪」を連載していく。(月2回発行)